

大腸切除術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/	/	/	
経過	入院日	手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後 1 日目
目標	・ バイタルサインが安定している ・ 疼痛のコントロールができている ・ 身体的準備ができている			・ 腹部症状・ 所見がない ・ 疼痛のコントロールができている ・ 排泄に問題がない	
治療	・ 看護師より手術の流れについて説明します ・ 下肢静脈血栓症や脳梗塞を予防する為、弾性ストッキングの計測を行います	・ おへそを綺麗にします ・ 点滴を開始します ・ 手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します ・ 下剤を10時21時に服用します ・ 安定剤を21時に服用します ・ 必要時除毛を行います	・ 点滴をしたまま手術室へ行きます	・ 持続点滴、抗生剤投与を行います ・ 酸素吸入、心電図装着状態（術後1日目状態に応じて中止します） ・ 背中に痛み止めの細いチューブが入っています ・ 鼻から胃につながっている管が入っています ・ 創部に管が入っています	
処置					
薬剤					
検査	・ 術前検査が終わっているか確認します ・ 身長体重を測ります			採血、レントゲンがあります	
安静	安静度フリー			・ ベッド上安静 ・ 膝立、寝返り可	・ リハビリを始めます ・ ベッド上にて座位可
食事	低残渣食	・ 朝から絶食、飲水のみ可 ・ 21時以降、絶食	飲水（ ）まで可能		絶飲食ですが、鼻の管が抜けたら飲水を開始します
清潔	手術前日まで入浴可	・ 爪切り、マニキュア除去 ・ 男性は髭剃り	・ 弾性ストッキング装着します（術後歩行開始まで装着） ・ 術衣へ更衣します ・ 時計、義歯、指輪、コンタクトレンズを外して下さい		看護師が身体を拭きます
排泄			手術室に行く前に 排尿を済ませます	尿を排泄する管が入っています	
説明	入院時まで内服していた薬がありましたら看護師にお知らせ下さい	・ 手術・ HCUに必要な物品を準備します ・ 麻酔科医、手術室、 HCU看護師の訪問があります	・ 手術室へ入る前に、床頭台の鍵は看護師へお預けください。 ・ 手術に対して疑問、不安がございましたらスタッフへお尋ねください。		

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます

D0_1015 2024年2月クリニカルパス委員会承認

大腸切除術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/	/	/	/	
経過	術後 2 日目		術後 3 日目	術後 4 日目	術後 5 ～ 6 日目	術後 7 ～ 11 日目
目標	・ 腹部症状・所見がない ・ 感染の徴候がない ・ 痛みのコントロールが出来る				・ 栄養摂取ができる ・ 腹部症状、所見がない。感染兆候がない ・ 日常生活の注意点について理解できる ・ 合併症の症状について理解出来る	
治療	・ 持続点滴中 ・ 背中痛み止め薬が無くなったらチューブを抜きます		・ 持続点滴中 ・ 創部の管を抜きます ・ 酸素吸入終了	・ 持続点滴中	術後5日目で点滴終了予定です	
処置						
薬剤	・ 回診時鼻の管を抜きます					
検査		採血、レントゲンがあります				7日目：採血、レントゲン
安静	立つ練習を始めます。 歩行が出来たら弾性ストッキングを脱ぎます		歩行可 			
食事	状況に応じて食事開始となります					
清潔	 看護師が身体を拭きます			創部のガーゼが取れたらシャワー浴可		 入浴可
排泄	尿の管は術後 3 ～ 4 日目で抜去となる予定です。					
説明				薬剤師より薬の説明があります（日時未定） 		・ 回診時に医師より状況説明があります ・ 看護師よりサージカル肌テープ貼付説明があります ・ 退院前に栄養士より食事について説明があります 

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます